



■ 住宅用火災警報器の奏功例を紹介します！



駿東伊豆消防本部管内で実際にあった、住宅用火災警報器のおかげで「火災の被害を未然に防ぐことができた。」・「火災の被害を軽減できた。」事例の一部をご紹介します。



奏功事例①

- 住宅用火災警報器の警報音が聞こえたため、窓から外を見ると**隣の家の窓から煙**が出ているのを発見し、通報したもので、**早期の発見、通報**に繋がり大きな被害には至らなかった。

奏功事例②

- 居住者は外出しており留守であったが、設置していた連動型住宅用火災警報器が作動したことにより警備会社に入電、その後 119 番通報されたもので、**早期の発見、通報**に繋がり大きな被害には至らなかった。

奏功事例③

- 天ぷら鍋を電磁調理器（IH コンロ）に掛けたままその場を離れたため、油が発火点に達し出火したもので、**2階に居た息子**が住宅用火災警報器の警報音が聞こえたため駆けつけると、天ぷら鍋から火が上がっていたので台所にあった消火器で**初期消火に成功**し、大きな被害には至らなかった。

このように、住宅用火災警報器の奏功事例は数多く報告されております。まだ設置されていないお宅は、火災から身を守るために、早急に住宅用火災警報器を設置しましょう。

また、設置した後も、いざという時に正常に作動するように、**日頃から点検や掃除をして維持管理することが大切です**。定期的に電池がなくなっていないか、ほこりはたまっていないか確認するように心掛けましょう。

点検や掃除、本体の交換は、高所での作業となりますので、**ご家族と協力**して転落、転倒による**ケガ**をしないように十分注意してください。



《関係記事（別ページ）》

【住宅用火災警報器の設置・交換・点検】

[静岡県消防保安課 リーフレット](#)

【住宅用火災警報器の交換・点検について】

[一般社団法人 日本火災報知機工業会](#)

【住宅防火情報について】

[総務省消防庁予防課](#)